



10月は、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間です!

がん検診を町内の医療機関で実施しています。9月の集団検診でがん検診を受けられなかった人は、ぜひこの機会に受診してください。

●**検診期間** 平成29年1月31日(火)まで

※大腸がん検診は8月1日(月)より開始しています。

●**各種検診について** ※**年齢基準日 平成29年3月31日**

検診項目	対象者	医療機関	自己負担金
子宮頸がん検診	20歳以上の偶数年齢の女性	王子産婦人科医院 ☎933-5050	800円
乳がん検診	40歳以上の偶数年齢の女性	須恵外科胃腸科医院 ☎936-2355	800円
大腸がん検診	40歳以上	正信会水戸病院健診センター ☎935-3799 泰平病院 ☎932-5881 千鳥橋病院附属須恵診療所 ☎934-0011 須恵外科胃腸科医院 ☎936-2355 きよいファミリー内科 ☎957-6777 ※粕屋地区の医療機関でも受診できます。町外の実施医療機関については、お問い合わせください。ホームページにも掲載しています。	200円

●**申込方法** 医療機関へ電話で予約

●**注意事項**

●受診の際は、健康保険証など本人確認ができるものを持参してください。生活保護受給者は、診療依頼書を持参してください。

●集団検診で既にごがん検診を受けた人は、重複して検診を受けることはできません。

●がん検診無料クーポン券をお持ちの人も受診できます。

平成25年度 須恵町がん検診受診率

検診項目	全国	福岡県	須恵町
子宮頸がん	32.0%	32.9%	13.2%
乳がん	26.3%	28.7%	15.1%
大腸がん	19.2%	13.0%	9.2%

(地域保健・健康増進事業報告より)

☎健康福祉課 ☎687-1530(ダイヤルイン)
☎932-1151(内線167)

タイトルをみて「虫歯があること、がんが関係しているなんて聞いたことがない」と思われたでしょう。がんの治療には、①手術 ②抗がん剤などの薬物療法 ③放射線治療 ④対症療法(鎮痛剤、輸血、肺炎などの合併症の治療)があります。がんの手術は成功したのに、術後肺炎で死亡することもあります。術前、虫歯や歯周病、歯槽膿漏などにより口腔内の衛生環境が悪いと、肺炎などにかかりやすいのです。手術をする場合、手術前に口腔ケア(歯石や歯垢の掃除など)を行うと術後肺炎が減ります。それは術後肺炎の原因となる口腔内細菌を減らせるからです。術後肺炎になると食事開始も遅れ、傷の治りや体力回復が遅れ、その結果入院生活が長くなります。食事ができることは患者の精神安定のためにも重要です。また、全身麻酔のときに気管支にチューブを入れますが、そのとき歯が損傷したり抜けたりすることもあるため、そのようなことがないように手術前に口のチェックをしたほうがいいのです。

抗がん剤治療をつけると、感染症にかかりやすくなり、時には命に関わる感染症(肺炎や敗血症)になります。感染症になると予定通りの抗がん剤治療ができなくなり、がんが悪化し寿命が短くなります。口腔ケアが行き届いている人は、感染症にはかかりにくい傾向にあります。

がんになってから口腔ケアを受ければ間に合つと思われがちではありません。治療前に口腔ケアを受ける時間がなく、口腔の衛生環境が不良のままがんの治療をせざるを得ないことが少なくないのです。自分は大丈夫と思つていても、案外治療すべき虫歯や歯肉の炎症などがあるものです。

がんにならずとも、日ごろからかかりつけ歯科をつくり、定期的な口腔ケアを行なつてみませんか。口の健康は、生き生きとした日々を送る第一歩です。

☎一般社団法人粕屋歯科医師会
☎712-1764
☎健康福祉課
☎687-1530(ダイヤルイン)

コラム
がん患者と歯科治療
『口の健康は、がん患者の寿命を左右する』
福岡東医療センター 血液・腫瘍内科 黒岩三佳医師

①健康な口で食べることができることは体力の維持、精神安定、がん治療の継続に重要
②口腔ケアは患者の生活の質Quality of life(QOL)を改善する
③口の健康は生命予後を延ばす
④口から自然な形でおいしく食事がいただけることは、がん治療の鍵



予防接種のお知らせ

10月1日からB型肝炎ワクチンの定期予防接種が始まります

▶B型肝炎とは

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。

B型肝炎ウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続く場合(この状態をキャリアといいます)があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人は、肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともあります。

▶B型肝炎ワクチンとは

B型肝炎ワクチンを接種することで、体の中にB型肝炎ウイルスへの抵抗力(免疫)ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、キャリアになることも予防できます。また、まわりの人への感染も防ぐことができます。

▶対象者

平成28年4月1日以降に生まれた0歳児

▶接種方法と回数

- 接種開始は生後2か月からで、合計3回の接種を行います。第1回目の接種後、27日以上の間隔をあけて2回目の接種を行います。その後、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目の接種を行います。
- 1回目の接種から3回目の接種を終えるまでには、およそ半年間かかります。平成28年4月・5月生まれの

お子さんと、10月以降初めてB型肝炎の予防接種を受ける場合は、早めの接種が必要です。

▶自己負担金

なし(ただし、1歳を過ぎると、定期予防接種の対象外となり、有料になります。)

▶注意事項

●任意接種で、すでにB型肝炎ワクチンの予防接種を受けたことがある対象者は、任意接種分の回数も接種した回数に含まれます。

(例)任意接種(自費)で1回接種後、定期予防接種を初めて受ける場合

→定期予防接種分は2回目に該当

●母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受ける場合は、健康保険が適用されるため、定期予防接種の対象外となります。

▶実施医療機関

正信会水戸病院……………☎935-3755
きよいファミリー内科……………☎957-6777
(9月6日現在で町内の指定医療機関のみ記載)

※B型肝炎ワクチンの予防接種対象者には、9月下旬から10月上旬に、個別通知を発送します。

☎健康福祉課 ☎687-1530(ダイヤルイン)
☎932-1151(内線166)

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

▶対象者

接種当日、須恵町に在住で

- ①65歳以上の人
- ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器の機能や、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がい(身体障害者手帳1級程度)がある人

▶実施期間

10月1日(土)～平成29年1月31日(火)

▶自己負担金

1600円

▶医療機関に持参するもの

- 住所、氏名、年齢が確認できるもの(健康保険証など)
 - ②の対象者は、身体障害者手帳
- ※生活保護受給者は、自己負担金が免除されますので、「診療依頼書」をお持ちください。

▶実施医療機関

正信会水戸病院……………☎935-3755
泰平病院……………☎932-5881
市来医院……………☎935-0165
岡医院……………☎932-0458
千鳥橋病院附属須恵診療所……………☎934-0011
須恵外科胃腸科医院……………☎936-2355
貫外科胃腸科医院……………☎933-5111
太田整形外科……………☎932-8877
須恵中央眼科……………☎931-1800
いずまるクリニック……………☎933-8741
きよいファミリー内科……………☎957-6777

☎健康福祉課 ☎687-1530(ダイヤルイン)
☎932-1151(内線166)